



特別授業3, 4年生終了

11月10日(水)から3年1組さんをスタートに特別授業をさせていただいています。昨日までに、3, 4年生8クラスで授業をさせていただきました。どのクラスも反応がよく、しっかり話を聞いてくれるので、気持ちよく授業をさせていただいています。3年生のみなさんが感想を寄せてくださったので紹介します。

校長先生の授業を受けて 3年1組 KAさん

先週、校長先生から点字と絵本について教えてもらいました。点字の話では、校長先生と目の不自由な子とのエピソードを聞きました。点字という言葉は初めて聞いたし、実際に点字を目にしました。さわってみると、ボツボツとしていました。これが目の不自由な人にとっての文字の役割なのだと思います。

「二平方メートルの世界で」という絵本のお話では、病気の女の子が書いた実話でせつないお話でした。けんこうでいられることや学校に行けることがどれほど幸せなんだろうと海音ちゃんを通して感じました。

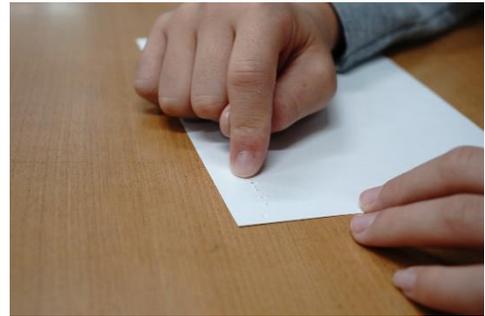
校長先生の授業はめったに受けられないので、きょうなことがあったし、また受けてみたいなのと思いました。



校長先生の授業を受けて 3年2組 KYさん

ぼくは校長先生の授業を受けてわかったことが2つあります。1つ目は点字です。なぜ点字のことを書いたかという、ぼくは点字という名前は知っていましたが、点字の意味を知らなかったからぼくはノートに書きました。たとえば「あ」の点です。「あ」の点は点が1つしかなかったから分かりやすかったです。ほかの点字は点が多かったこともあってわかりにくいところがありました。が、とても勉強になりました。

2つ目にわかったことは校長先生が紹介してくれた絵本です。本の中には病気で入院している子供が出てきて、学校に行けずベッドの上で1日のほとんどを過ごしている、ということです。その子が一生懸命に生きているので、ぼくも一生懸命に生きたいです。



校長先生の授業の感想 3年3組 SKさん

先週の金曜日に校長先生の授業で、校長先生が2つのことを教えてくれました。

1つ目は点字です。点字は目の不自由な方が読むためのものでした。とてもたくさん種類があって、難しいと思いました。でも、目の不自由な方にとっては大事なんだ、と思いました。

2つ目は、ある3年生が書いた作文です。その人が入院している時の様子や気持ちを書いた作文が絵本になったのです。ぼくはその本に書かれていることを聞いて、自分もこうなったらどうするんだ、と思いました。とてもいい絵本でした。

校長先生の授業は少し緊張したけど、とても勉強になりました。

校長先生の授業を受けて 3年4組 KSさん

私が一番心に残ったことは点字のお話です。特に校長先生にくれた点字の手紙はとてもすごいなと思いました。自分ではりをうつ子もいれば機械でうつ子もいました。

2つ目に心にのこったことは、私と同じ3年生の病気の女の子が書いた作文です。入院しているときのことや、その時のできごとなどが書かれていました。それが本になっている、と校長先生が言っていました。校長先生が読んでくれたところのほかの文も読んでみたくなりました。一番心に残ったところは、だれもが自分たちのように当たり前で過ごせていないことがちゃんと分かりました。

(文責：手代木)